

2023年12月期 第3四半期
決算概要書

株式会社 船井総研ホールディングス
(東証プライム：証券コード9757)

2023年11月8日 (水)



1 エグゼクティブサマリー

- (1) 連結収益状況
- (2) 通期業績予想に対する進捗状況
- (3) 前年同期比差異分析

2 2023年12月期 第3四半期決算報告

- (1) セグメント別経営成績
- (2) 経営コンサルティング事業における業績動向
- (3) ロジスティクス事業における業績動向
- (4) デジタルソリューション事業における業績動向
- (5) DX関連サービスにおける業績動向
- (6) 連結財務状況

3 株主還元と当社の取り組み

【本資料に関する注意事項】

エグゼクティブサマリー

1. エグゼクティブサマリー

(1) 連結収益状況

- ・売上高は、経営コンサルティング事業において、月次支援及びプロジェクトのコンサルティングが増収
- ・利益面は、コンサルティング活動の促進における旅費交通費や販売促進費の増加、積極的な人財採用による採用費および人件費の増加もあり減益

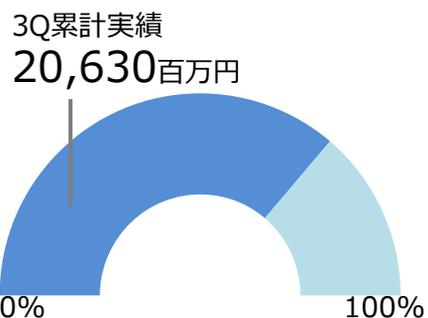
	22年3Q累計		23年3Q累計		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	18,655	100.0	20,630	100.0	+10.6
営業利益	5,329	28.6	4,951	24.0	-7.1
経常利益	5,382	28.9	5,017	24.3	-6.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,680	19.7	3,449	16.7	-6.3

1. エグゼクティブサマリー

(2) 通期業績予想に対する進捗状況

売上高

2023年通期予想
28,500百万円
(前期比+11.2%)

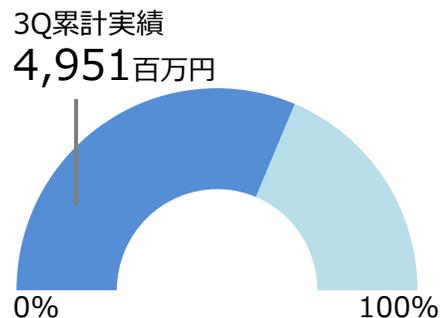


3Q累計
進捗率

72.4%

営業利益

2023年通期予想
7,900百万円
(前期比+11.3%)

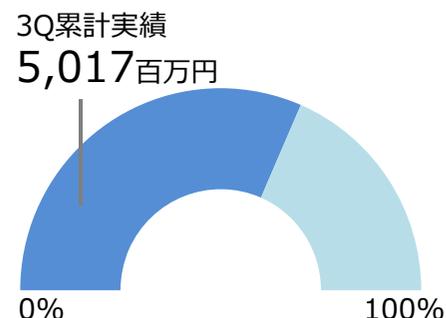


3Q累計
進捗率

62.7%

経常利益

2023年通期予想
7,950百万円
(前期比+10.5%)

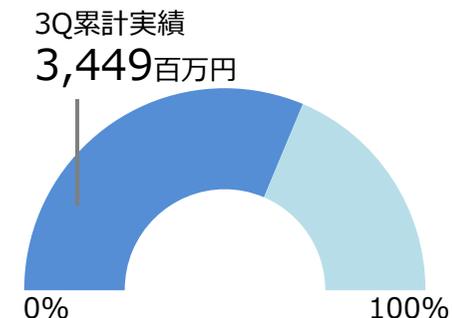


3Q累計
進捗率

63.1%

親会社株主に帰属する 当期純利益

2023年通期予想
5,500百万円
(前期比+10.2%)



3Q累計
進捗率

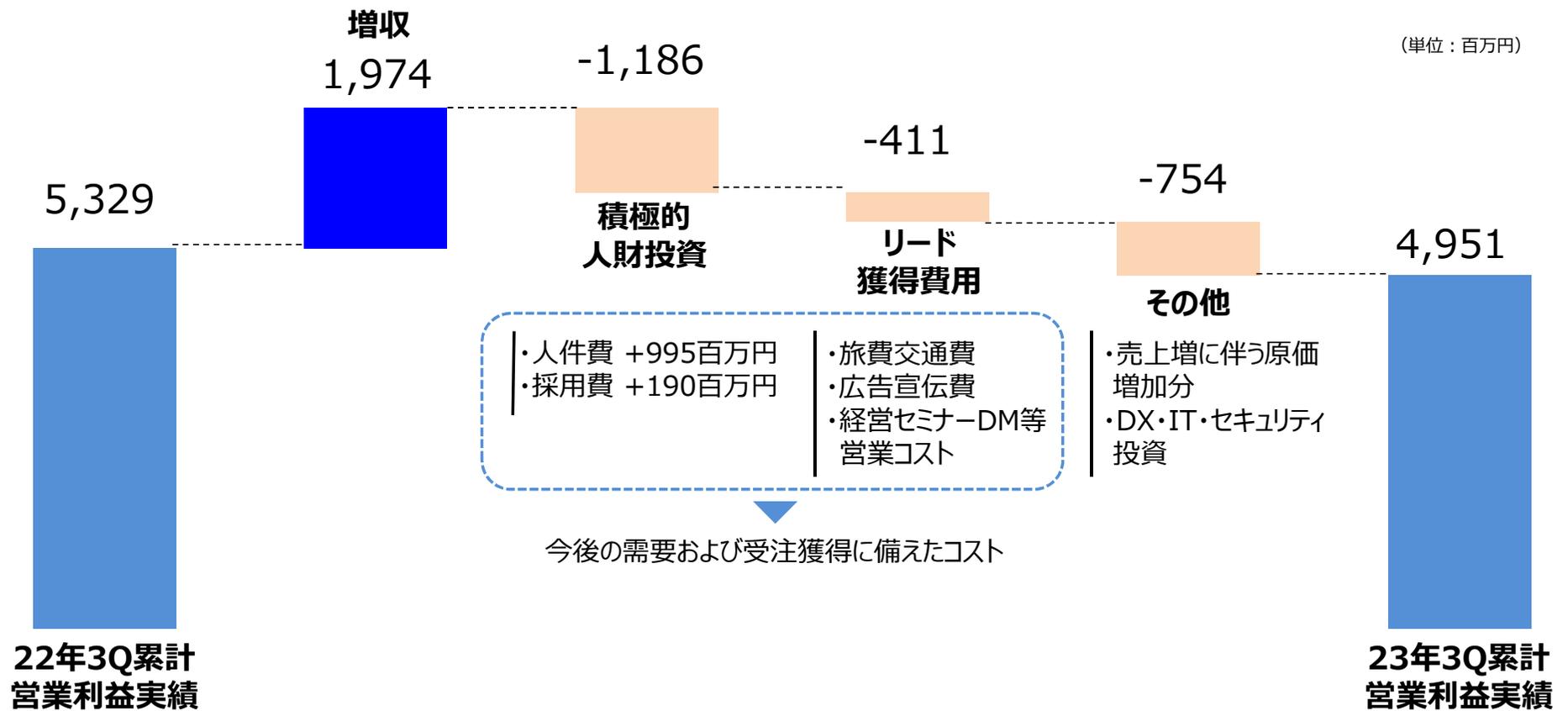
62.7%

1. エグゼクティブサマリー

(3) 前年同期比差異分析 = 営業利益の増減 =

今後の需要増に備えた積極的な人財投資と受注獲得に向けた営業活動を強化

(単位：百万円)



1. エグゼクティブサマリー

(3) 前年同期比差異分析 = 職種別人員推移 =

- ・中期経営計画の人財戦略の実現に向けて、将来の売上に直結する「コンサルタント人財」およびエンジニアを中心とした「ビジネス人財」の採用・育成を強化
- ・特に重要KPIの1つであるコンサルタント人財については、当初計画を大きく上回るペースで増加

	22年3Q累計	23年3Q累計	23年末 計画	25年末 中期経営計画
従業員数	1,378名 +47名 (+3.5%)	1,554名 純増 +176名 (+12.8%)	1,510名	1,800名
コンサルタント人財	881名 -3名 (-0.3%)	999名 純増 +118名 (+13.4%)	950名	1,150名
ビジネス人財	285名	325名 純増 +40名 (+14.0%)	330名	400名
スタッフ人財	212名	230名 純増 +18名 (+8.5%)	230名	250名
上記の内、DX人財	203名	312名 純増 +109名 (+53.7%)		

※ビジネス人財：開発エンジニア、プロダクトセールス、新規事業担当、経営研究会オペレーションなど、売上に直結するライン部門の中でコンサルタントにカウントされない人財
 ※ビジネス人財、スタッフ人財は2022年度より新たな職種区分として設けたため、前年比較は2023年度より集計 ※DX人財の定義は当社独自の基準による

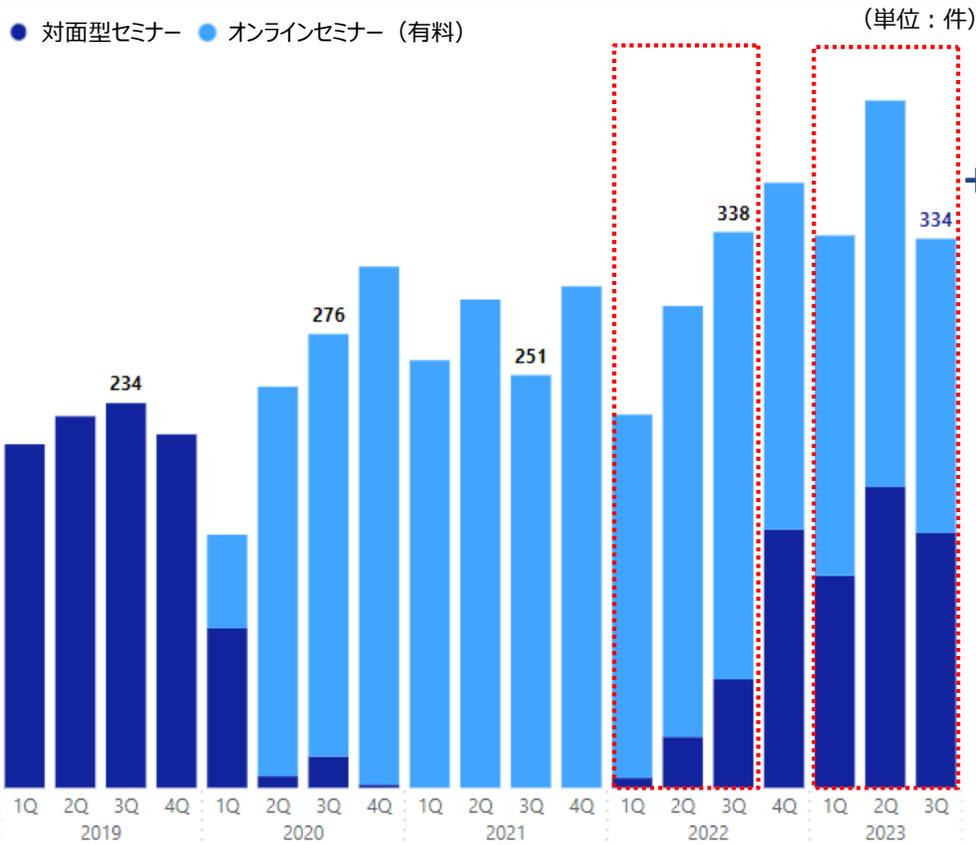
1. エグゼクティブサマリー

(3) 前年同期比差異分析 = 経営セミナーの実績推移 =

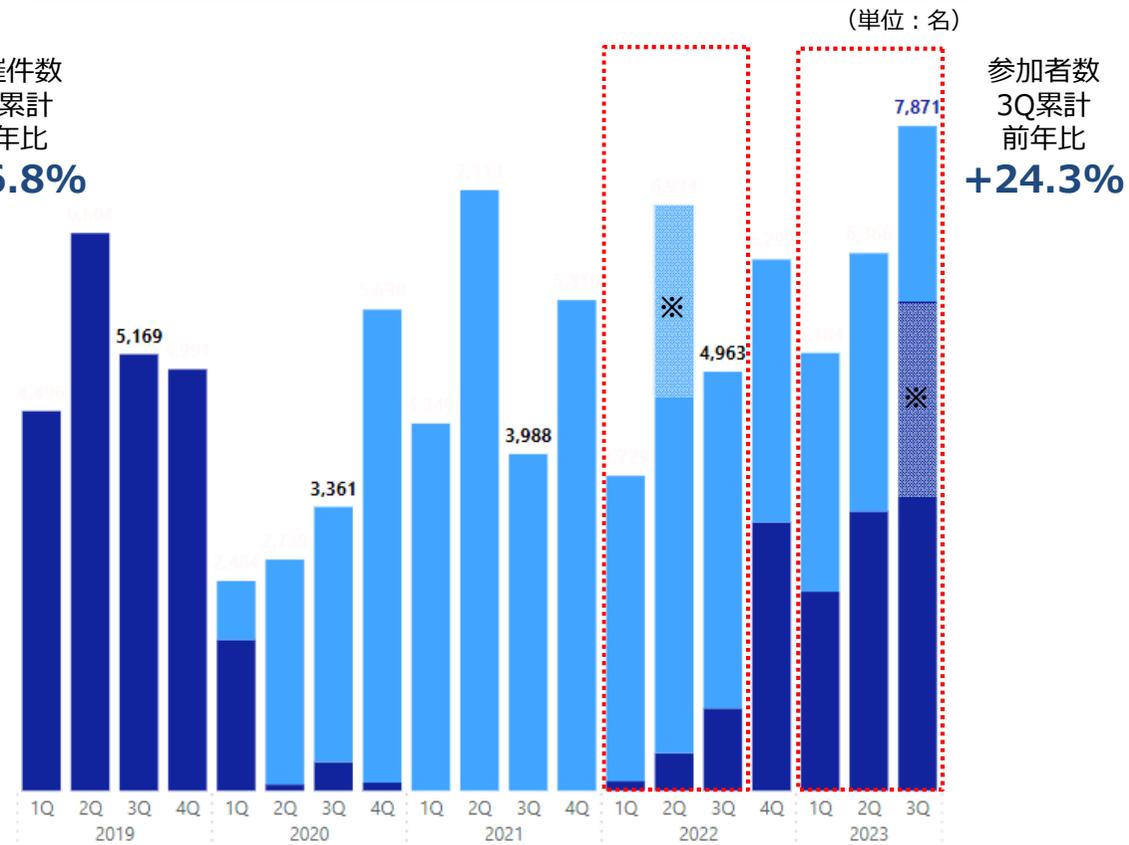
コロナ禍では十分に開催できなかつた対面型セミナーを積極的に開催し営業活動を強化

※経営戦略セミナー参加者数は、2022年：2,457名は2Qオンラインセミナー（有料）に含み、2023年：2,686名は3Q対面型セミナーに含む

経営セミナー 開催件数の推移



経営セミナー 参加者数の推移



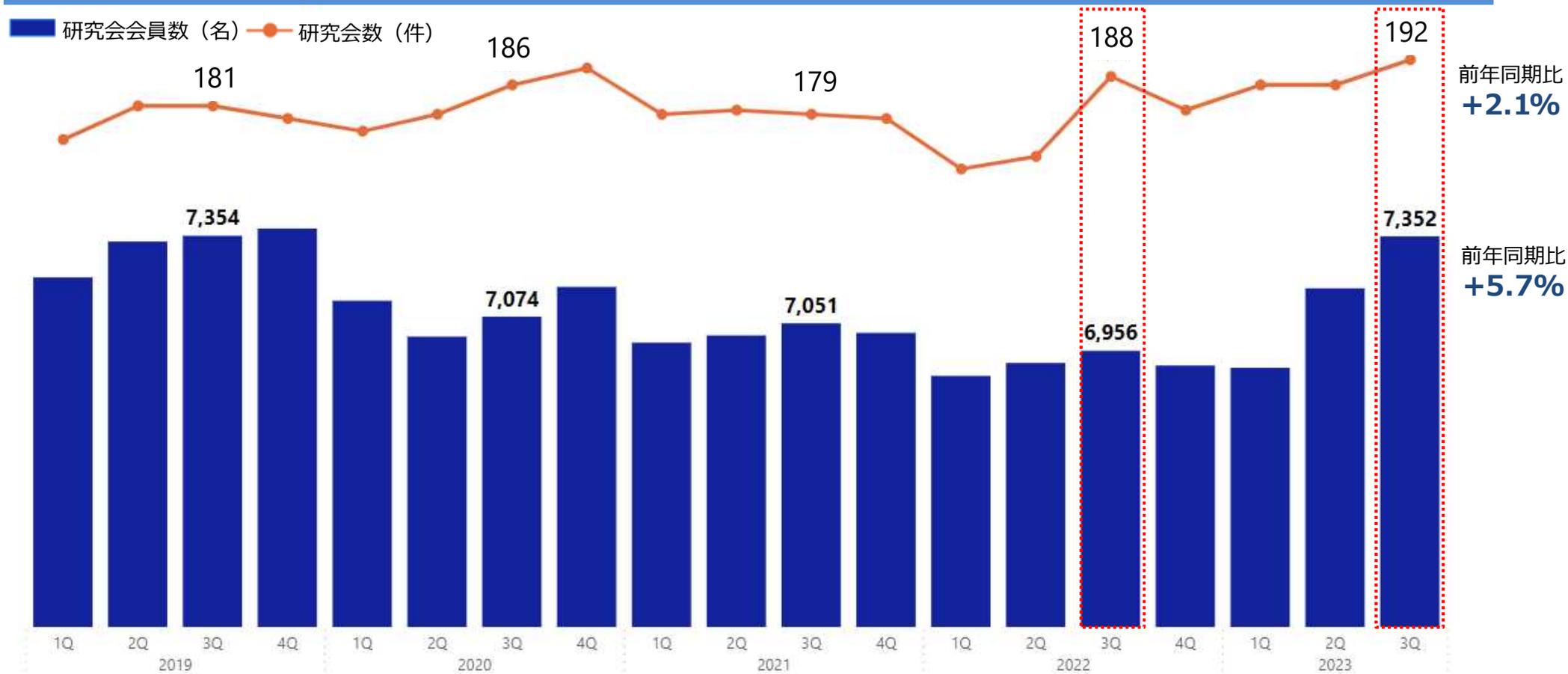
(数値は船井総合研究所主催の経営セミナー実績値)

1. エグゼクティブサマリー

(3) 前年同期比差異分析 = 経営研究会の実績推移 =

コロナ禍で減少傾向にあった研究会会員数も今年度より回復傾向

経営研究会 会員数および研究会数の推移



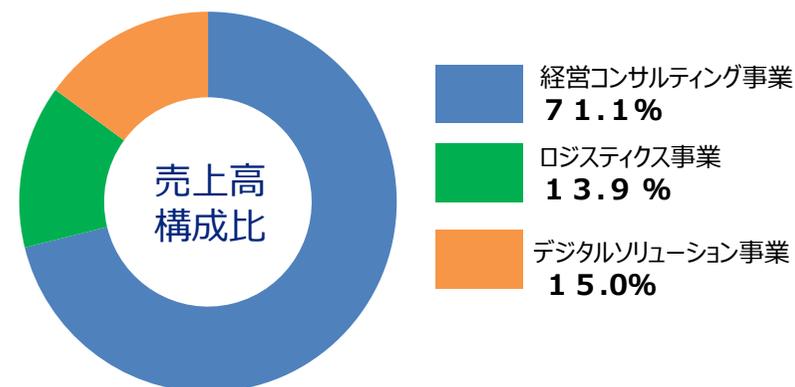
2023年12月期 第3四半期決算報告

2. 2023年12月期 第3四半期決算報告

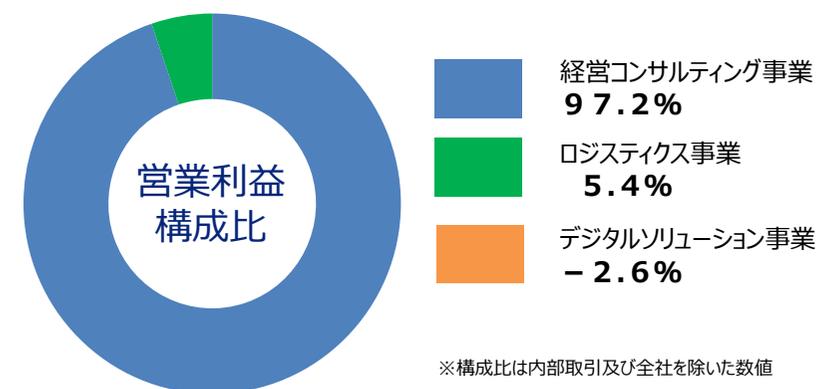
(1) セグメント別経営成績

- ・経営コンサルティング事業において、月次支援が好調に推移し、コンサルティング契約社数も順調に増加し、増収増益
- ・ロジスティクス事業、デジタルソリューション事業においては、人財採用強化による人件費増の影響もあり増収減益

売上高	22年3Q累計		23年3Q累計	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	前期比 (%)
経営コンサルティング事業	13,184	14,669		+11.3
ロジスティクス事業	2,796	2,859		+2.3
デジタルソリューション事業	2,662	3,089		+16.0
(内部取引および全社)	12	12		-
合計	18,655	20,630		+10.6



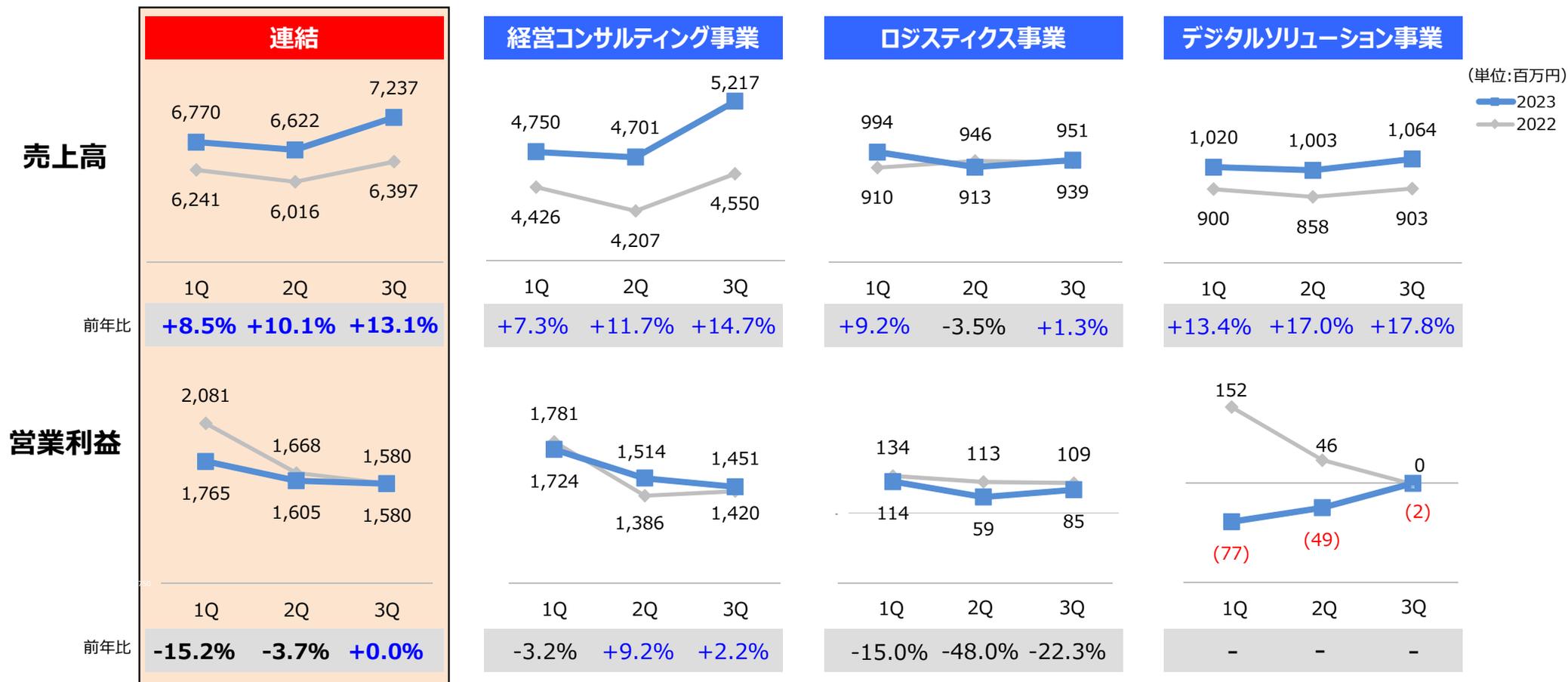
営業利益	22年3Q累計		23年3Q累計	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	前期比 (%)
経営コンサルティング事業	4,589	4,689		+2.2
ロジスティクス事業	357	258		-27.7
デジタルソリューション事業	196	-126		-
(内部取引および全社)	186	130		-
合計	5,329	4,951		-7.1



2. 2023年12月期 第3四半期決算報告

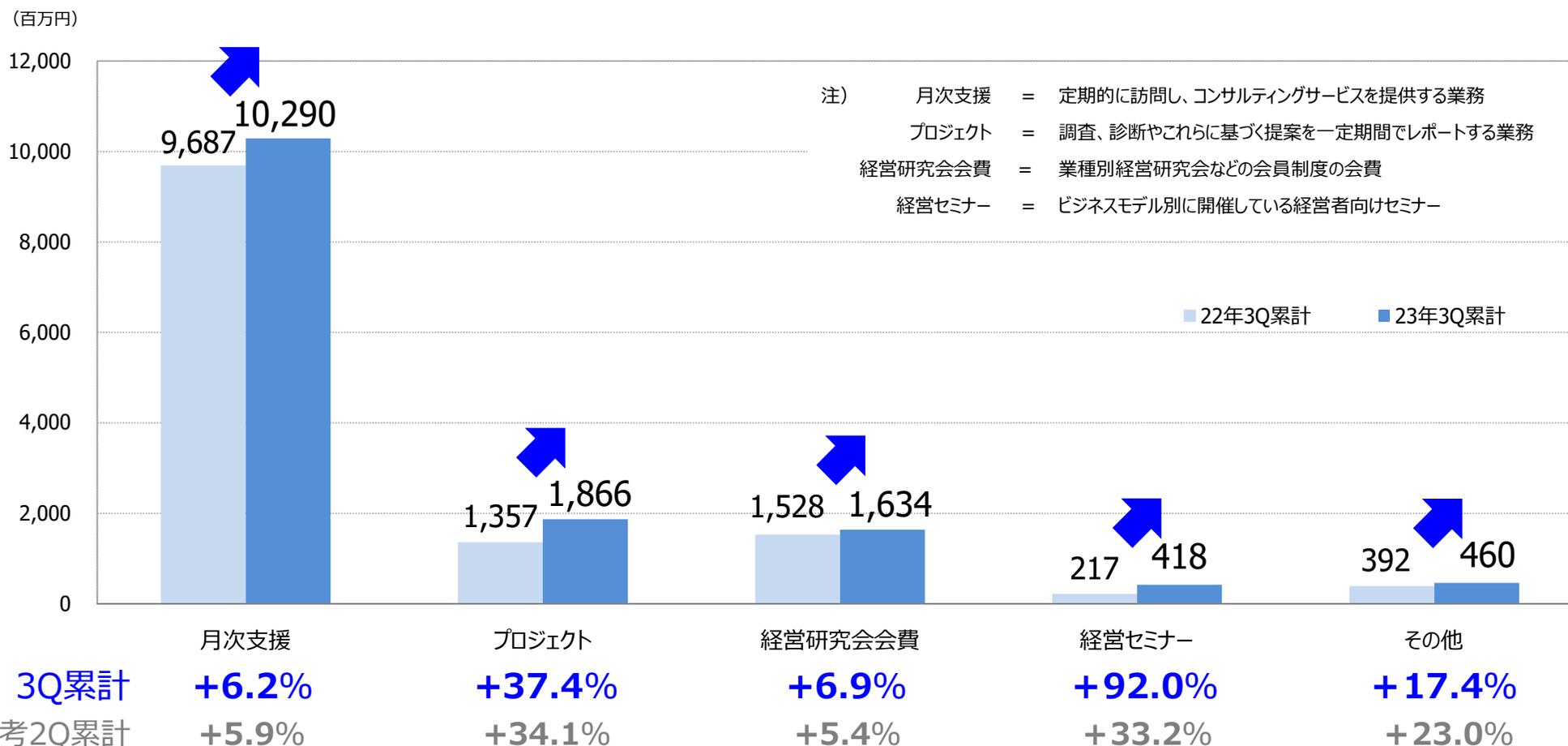
(1) セグメント別経営成績（四半期別）

- ・売上高伸び率は毎四半期上昇傾向
- ・営業利益においても、前年比プラスとなり、当第3四半期は増収増益を達成



2. 2023年12月期 第3四半期決算報告

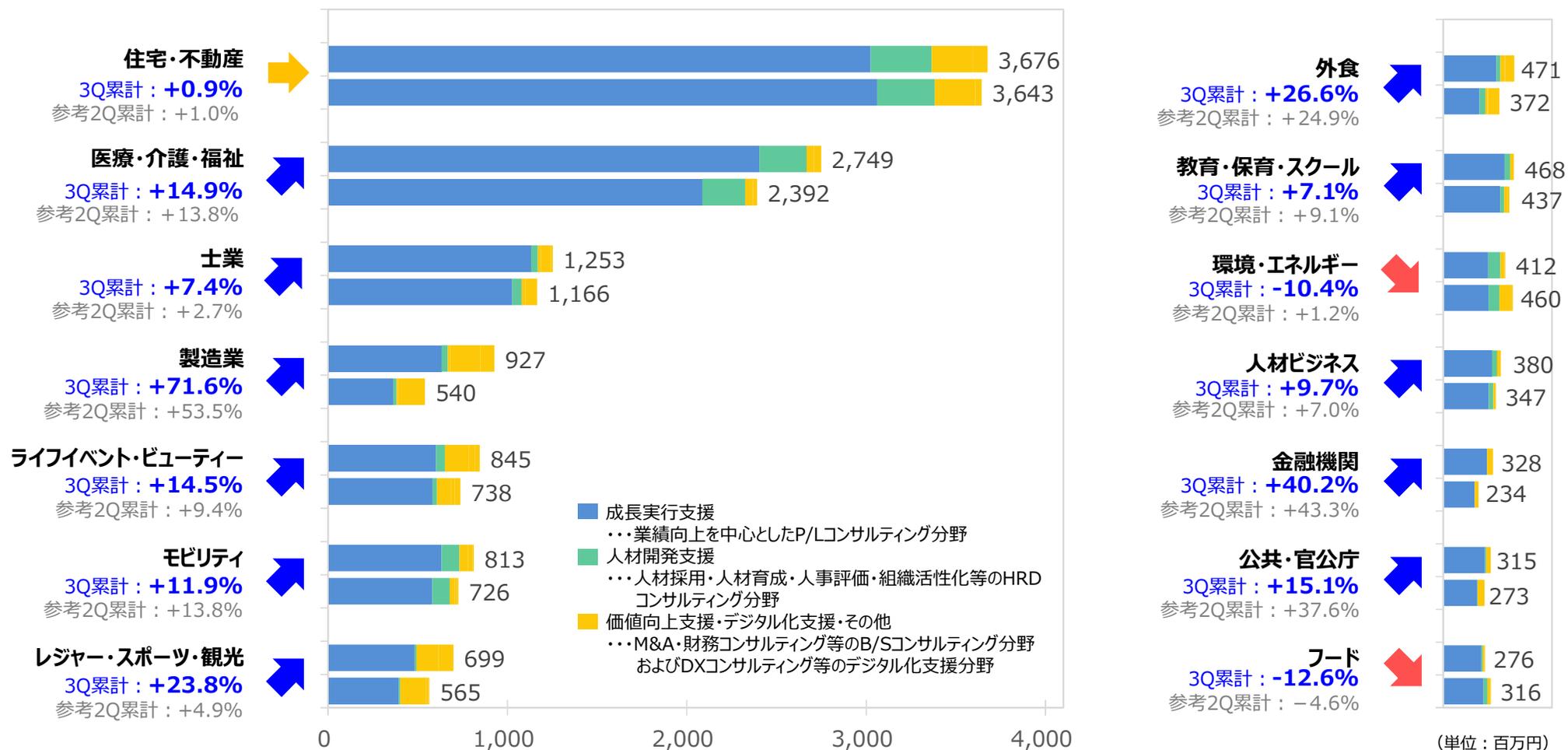
(2) 経営コンサルティング事業における業績動向 = 主な業務区分別売上 =



2. 2023年12月期 第3四半期決算報告

(2) 経営コンサルティング事業における業績動向 = 主な業種区分別売上 =

※各グラフ上段：23年3Q累計
下段：22年3Q累計



■ 成長実行支援
…業績向上を中心としたP/Lコンサルティング分野

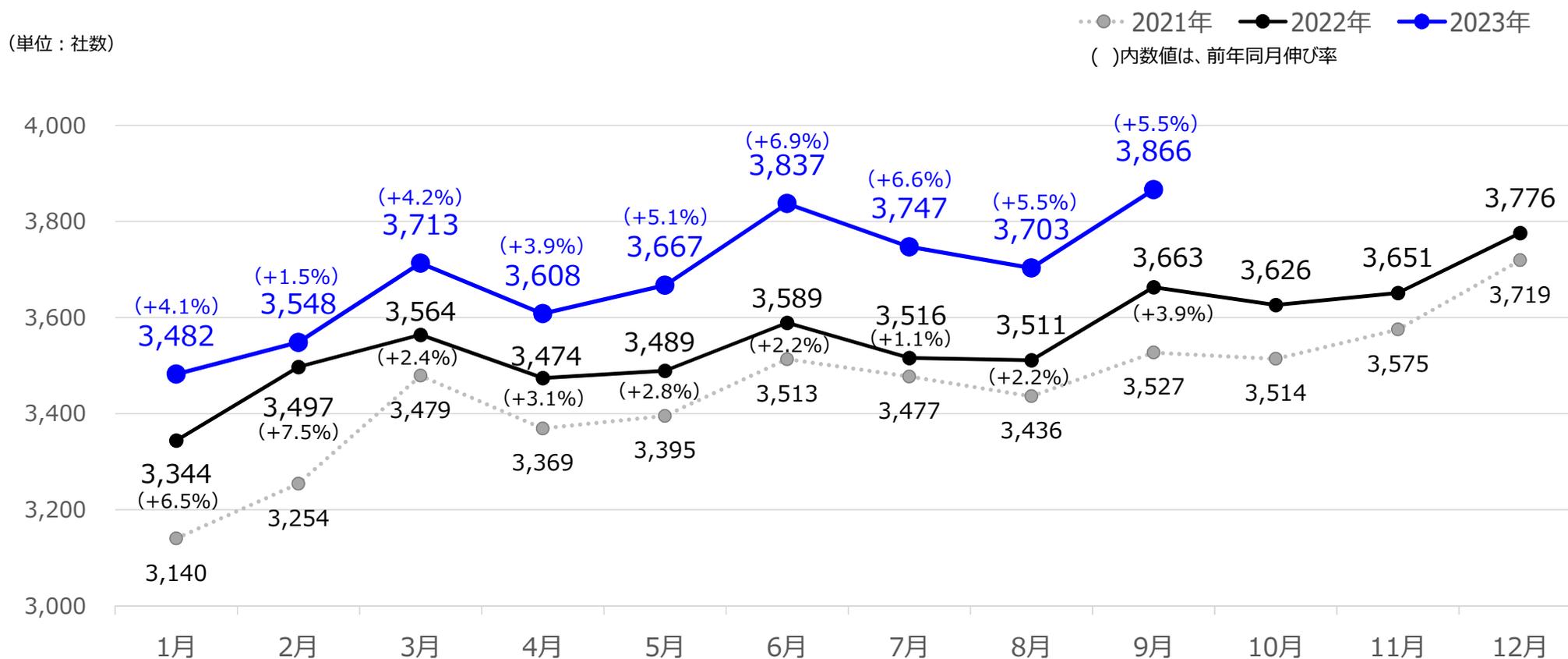
■ 人材開発支援
…人材採用・人材育成・人事評価・組織活性化等のHRD
コンサルティング分野

■ 価値向上支援・デジタル化支援・その他
…M&A・財務コンサルティング等のB/Sコンサルティング分野
およびDXコンサルティング等のデジタル化支援分野

2. 2023年12月期 第3四半期決算報告

(2) 経営コンサルティング事業における業績動向 =コンサルティング社数=

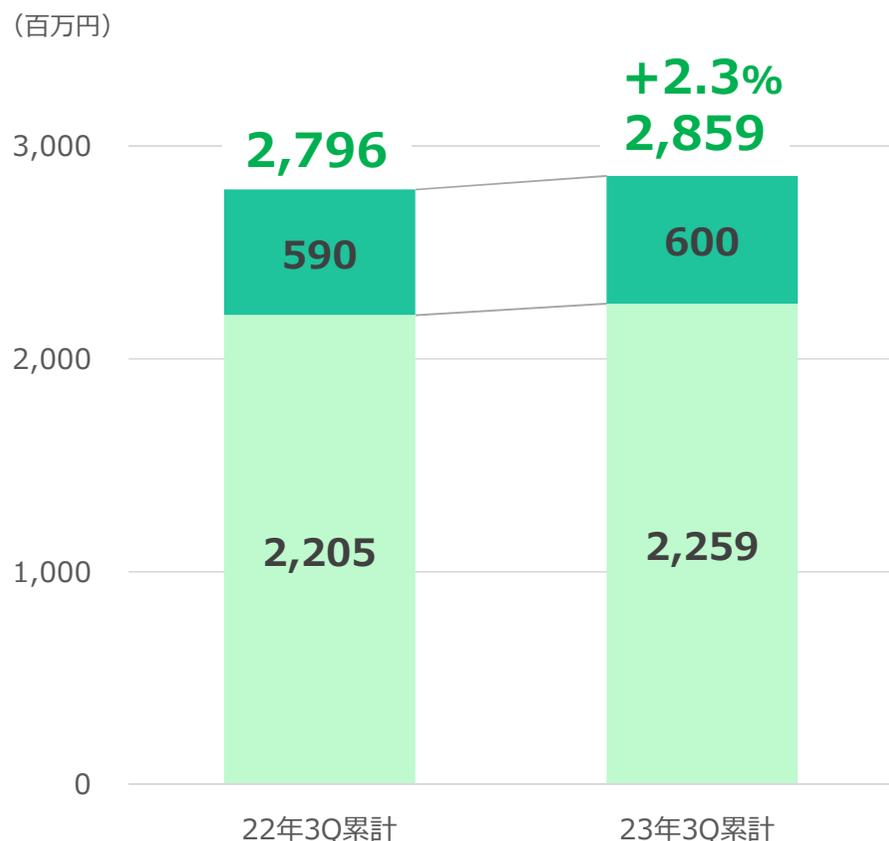
月別コンサルティング実績（社数）の推移



※数値は、経営コンサルティング事業（船井総合研究所・プロシード・船井（上海）・船井総研ITソリューションズ・成長戦略）における月別コンサルティング社数実績（延べ社数・グループ内取引除く）

2. 2023年12月期 第3四半期決算報告

(3) ロジスティクス事業における業績動向 =業務区分別売上=



物流コンサルティング (クライアントの物流コスト削減等)

▲ +1.7%

- ・物流企業向けコンサルティングは、好調に推移し、経営研究会会員数も増加 ※2023年9月末時点：331会員（前年同期307会員）
- ・荷主企業向けコンサルティングは、前四半期に比して回復基調なもの、プロジェクト受注が伸びずに減収

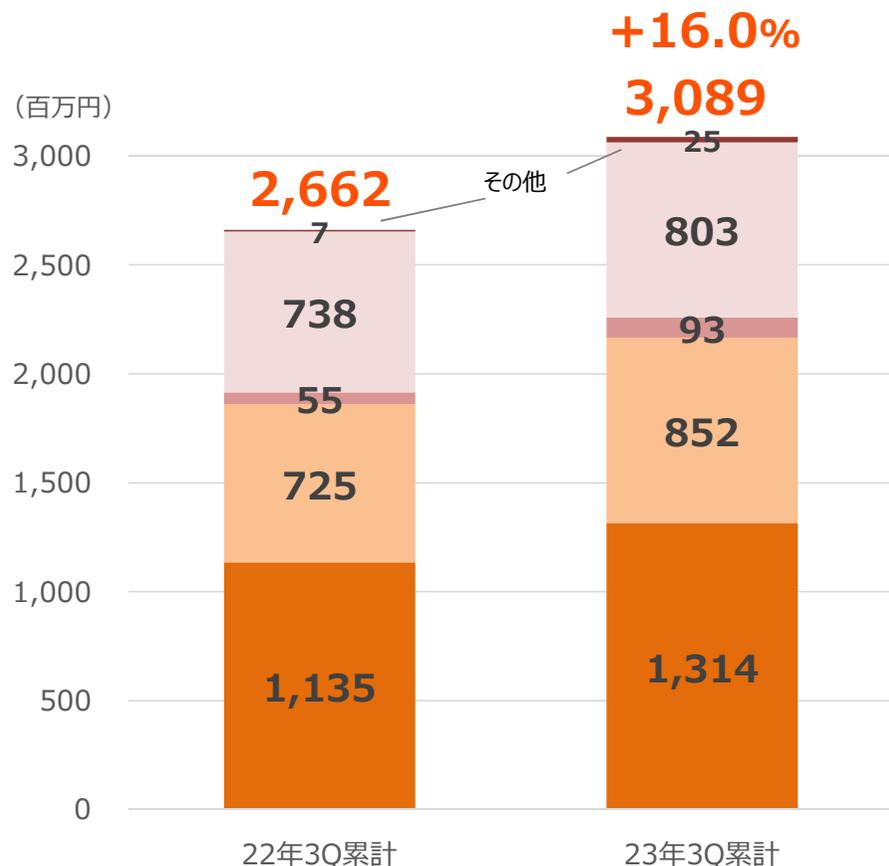
物流BPO (クライアントの物流業務の管理・運用、共同購買などによる購買コスト削減等)

▲ +2.4%

- ・物流オペレーション部門においては、既存顧客の取引が順調に継続し売上は増加
- ・共同購買サービスにおいては、主要商材である燃料単価の高止まりの影響を受けて売上は微減

2. 2023年12月期 第3四半期決算報告

(4) デジタルソリューション事業における業績動向 = 業務区分別売上 =



HRソリューション

▲ +8.8%

- ・新規受注の増加などにより増収
- ・営業利益率は10%以上を維持

ITコンサルティング

▲ +69.3%

- ・課題特定から実装までをサポートするバックオフィスコンサルティング領域が順調に拡大

クラウドソリューション

▲ +17.6%

- ・既存顧客からの追加受注ならびにクラウド開発・運用の受注が増加
- ・エンジニア人財確保を重要事項とし積極的な先行投資を継続

※2023年9月末時点 エンジニア数：103名（前年同期50名）

SPX (Sales Process Transformation)

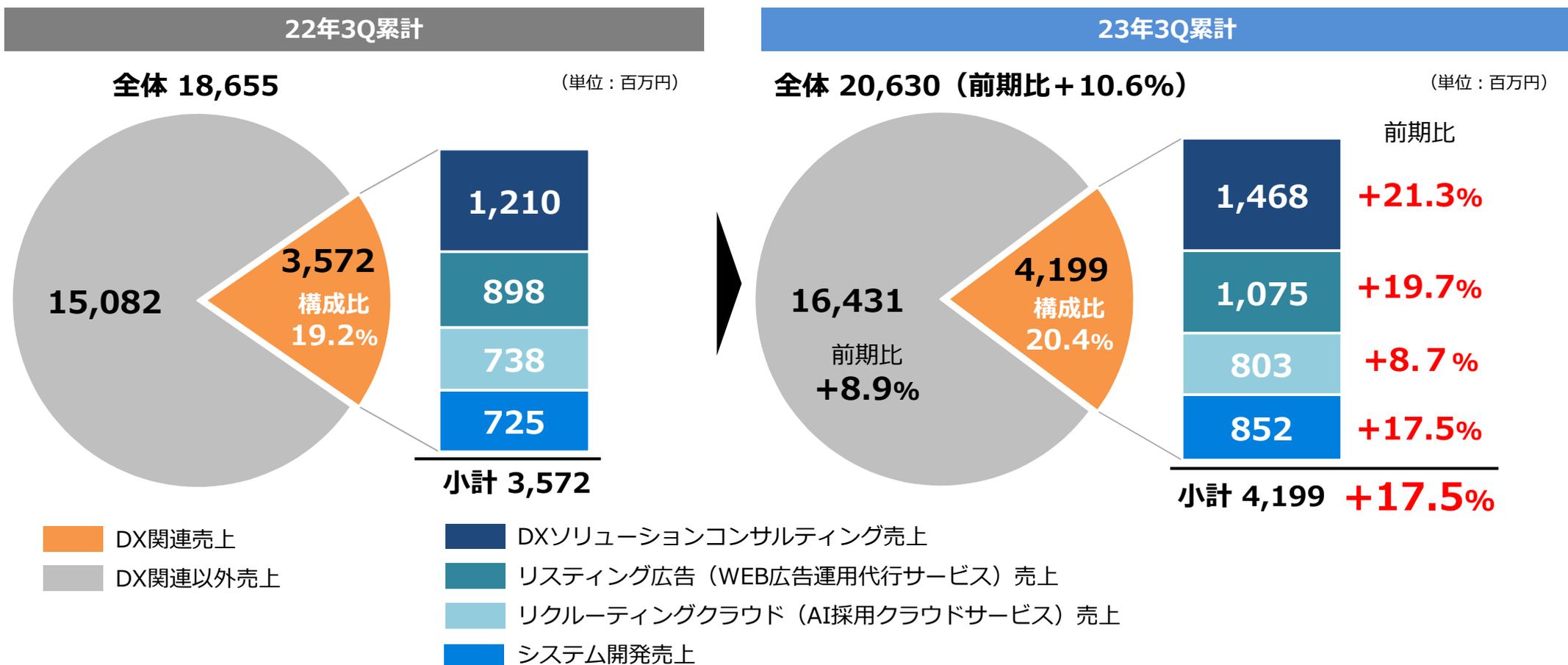
▲ +15.7%

- ・WEB広告運用代行業務が引続き堅調に推移し増収

2. 2023年12月期 第3四半期決算報告

(5) DX関連サービスにおける業績動向

- ・当社グループにて注力しているDX関連サービスは、17.5%の成長率で推移
- ・売上全体に占めるDX関連サービスの構成比は20%を超え、事業全体の成長に貢献



2. 2023年12月期 第3四半期決算報告

(6) 連結財務状況（要約貸借対照表）

（単位：百万円）

	2022年 12月末	2023年 9月末	増減額	増減の主な特徴
流動資産	22,283	19,552	▲2,730	流動資産の減少は、主に現金及び預金の減少によるもの
固定資産	有形固定資産	5,813	▲80	固定資産の増加は、主にのれん、投資その他の資産のその他に含まれる保証金及び定期預金の増加によるもの
	無形固定資産	830	+375	
	投資その他の資産	4,082	5,892	
資産合計	33,010	32,385	▲625	
流動負債	5,067	6,245	+1,178	流動負債の増加は、主に賞与引当金の増加及びその他に含まれる預り金の減少によるもの
固定負債	242	239	▲3	固定負債の減少は、主に退職給付に関わる負債の減少によるもの
負債合計	5,309	6,484	+1,175	
純資産合計	27,700	25,900	▲1,800	財務状況は、引続き高い自己資本比率（77.9%）を維持しており、健全な状態
負債純資産合計	33,010	32,385	▲625	

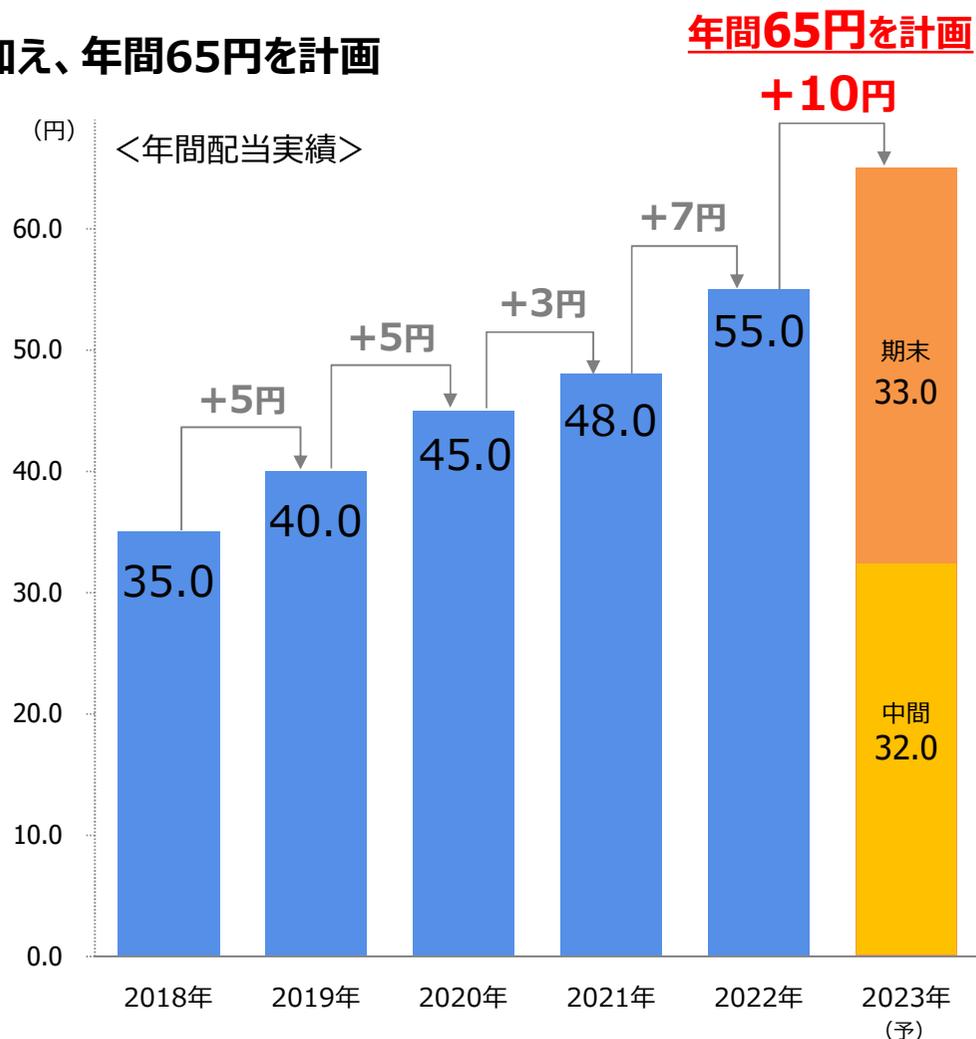
株主還元と当社の取り組み

3. 株主還元と当社の取り組み

(1) 配当について

2023年12月期の配当は、中間32円に決定。期末33円を加え、年間65円を計画

基準日	当初予想		実績	
	配当金額 (1株あたり)	内訳	配当金額 (1株あたり)	内訳
2018年12月期 ※株式1.5分割	33.0	中間 15.0 期末 18.0	35.0	中間 15.0 期末 20.0 ※うち特別配当2.0
2019年12月期	40.0	中間 17.0 期末 23.0	40.0	中間 17.0 期末 23.0 ※うち記念配当3.0
2020年12月期	45.0	中間 20.0 期末 25.0	45.0	中間 20.0 期末 25.0
2021年12月期	46.0	中間 21.0 期末 25.0	48.0	中間 21.0 期末 27.0
2022年12月期	53.0	中間 25.0 期末 28.0	55.0	中間 25.0 期末 30.0 ※うち記念配当2.0
2023年12月期 (予定)	65.0	中間 32.0 期末 33.0		中間 32.0



3. 株主還元と当社の取り組み

(2) 自己株式の取得について

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および資本効率の向上および株主還元の充実のため、2023年8月23日開催の取締役会にて、今期2度目の自己株式の取得を決定

取得株式の総数：**120**万株（上限）

発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 **2.4%**

取得価格の総額：**30**億円（上限）

取得期間：2023年8月24日～2024年5月31日

3. 株主還元と当社の取り組み

(3) 連結子会社間の合併に関するお知らせ

2023年9月22日開催の取締役会において、今後更なる事業成長を加速させるために必要な中堅・中小企業の経営課題解決に向け一貫通貫でサービス提供できる体制へとビジネスを拡張することを目的に連結子会社間の合併方針を決議



※合併の方式および本合併に係る割当の内容

- ・株式会社船井総合研究所を存続会社、株式会社船井総研デジタル、株式会社船井総研ITソリューションズを消滅会社とする吸収合併方式
- ・当社の100%子会社同士の合併であるため、株式その他の金銭等の割当はなし

3. 株主還元と当社の取り組み

(4) 当社グループ最大規模の経営研究会・海外視察セミナーを4年ぶりにリアル開催

経営研究会全国大会2023（第96回経営戦略セミナー）



- ・日本最大級の経営者向けセミナーイベントを3日間開催（8月20日～22日）し、成長意欲溢れる2,159社の経営者・経営幹部が参加
- ・総勢50名以上の現役経営トップがゲスト講師として登壇。船井総研グループ各社からも総勢100名以上がテーマ別講座や研究会分科会の講師として登壇

驚きのグレートカンパニー海外視察セミナー2023 in 米国

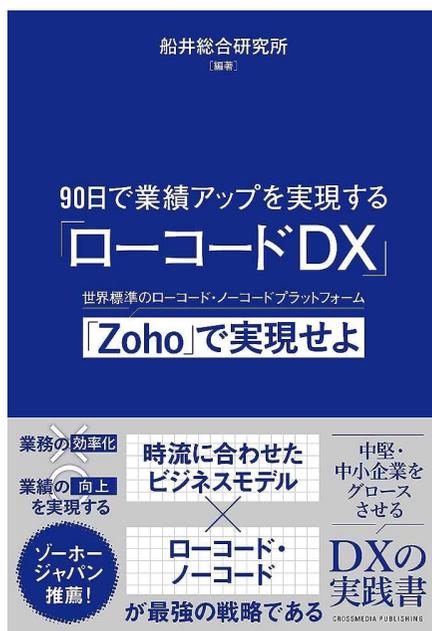


- ・船井総合研究所のトップコンサルタントが、今訪れるべき企業・組織を世界中から厳選
- ・今回は「コロナ後の世界で先を行く米国」と「多くの企業が移転し急成長するテキサス州」を体感する視察セミナーを開催（9月10日～17日）し、112名の経営者が参加

3. 株主還元と当社の取り組み

(5) サステナブルグロースカンパニーの実現に向けた書籍の刊行

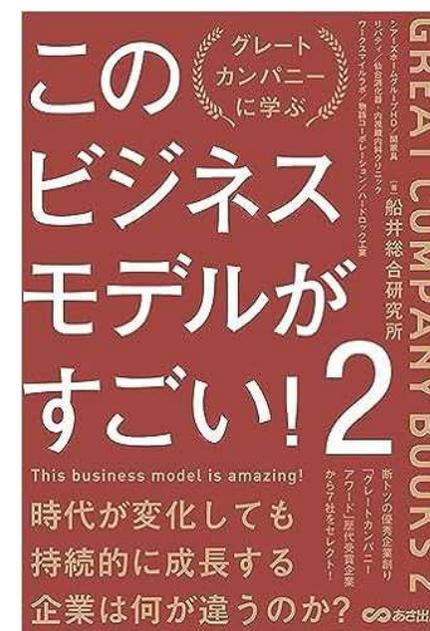
サステナブルグロースカンパニー（※）を輩出するために必要なデジタル変革、地域の社会課題の解決、企業の継続的な成長を実現するための提言を書籍刊行も含め発信



デジタル変革
DX



企業体変革
CX



ビジネスモデル変革
BX

（※）当社グループは2023年1月、変化が激しい不確実性の時代においても、力強く持続的に成長し続けられる会社を「サステナブルグロースカンパニー」と定義し、そのような企業を数多く輩出すること、また当社グループ自身もそのような会社になる、という志をグループパーパスとして制定いたしました

3. 株主還元と当社の取り組み

(6) 寄附講義を通じた社会貢献（船井総合研究所）

- ・神戸大学にて「中堅・中小企業の成長戦略・業績向上」をテーマとした寄附講義を開講
- ・次世代を担う学生約400名に向けて、船井総合研究所の社長はじめグループ各社経営幹部、コンサルタントが、豊富な成功事例を元に業種別のケーススタディを展開し、企業経営における成長戦略や業績向上の方法論を講義
- ・講義を通じて、経営コンサルタントとしての就職を希望する学生の採用活動にも寄与



(写真) 講義の様子

開講科目名：中堅・中小企業経営論（株式会社船井総合研究所 寄附講義）

開講時期：2023年10月2日(月)～2024年1月29日(月) 全15回

3. 株主還元と当社の取り組み

(7) インデックスへの組入れ・コンソーシアムへの加入

1 「JPX日経中小型株指数」構成銘柄へ2年連続選定



2022 - 2023年度選定

2022年8月より、株式会社JPX総研及び株式会社日本経済新聞社が算出する株価指数「JPX日経中小型株指数」の構成銘柄に選定されました。当指数は、「投資者にとって投資魅力の高い会社」をコンセプトとし、資本の効率的な活用や投資者を意識した経営等の投資基準を満たした、中小型株で構成される株価指数です。

2 Morningstar日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除くREIT） （愛称「GenDi J」）

Morningstarが提供する、Equileapのジェンダー・ダイバーシティに関する取り組み評価に基づいた指数です。2023年より、GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）が採用する、ESG投資のための株式指数のひとつとなっています。当社はGroup 2として評価されました（評価は2022年12月19日時点）。

3 TCFDコンソーシアムおよび人的資本経営コンソーシアムへの加入

当社は2023年8月にTCFDコンソーシアムに入会し、気候リスク機会、及び財務的影響に関する情報開示の強化に努めています。また、経済産業省及び金融庁をオブザーバーとして2022年8月に設立された「人的資本経営コンソーシアム」への参加を通して、当社グループの成長の源泉である人的資本の充実に向けた取り組みと開示を一層強化しています。



(ご参考) [TCFDの開示情報](#)

(ご参考) [「人的資本経営コンソーシアムが設立されます」\(経済産業省\)](#)

グループパーパス

サステナブルグロースカンパニーをもっと。 Sustainable Growth for More Companies

どんな時代にも成長し続ける企業を増やし、あらゆる人が幸せにその可能性を開花させ、
社会の生産性をも上げられる。そんな未来を私たちがリードしよう。

本資料に掲載されております計画や見通し、戦略等は、現時点において入手可能な情報や合理的判断を根拠とする一定の前提条件に基づいた当社の判断による予測です。

従いまして実際の業績等は、今後の様々な要因により、これらの見通しとは大きく変動する場合があります。

本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた損害などに関し、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

本資料は投資誘導を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われるようお願い致します。

IRに関するお問い合わせ先

株式会社 船井総研ホールディングス コーポレートコミュニケーション室

TEL: 06-6232-2010

Mail: ir@funaisoken.co.jp URL: <https://hd.funaisoken.co.jp>